



潟上市章

かたがみ  
Katagami

# 市議会だより

第27号



年末・年始の食卓へ（季節八夕八夕・潟上漁港（江川））

## 12月定例会

H24(2012)01.01

平成24年(2012年)

1月1日発行

年頭あいさつ	2	市議会議員研修会	8
12月定例会	3	委員会報告	9~10
提出議案・陳情	4	行政視察研修報告	11
一般質問	5~8	賛否一覧	12



# 地域の特性を生かしたまちづくりと その実現に向けた議会へ

潟上市議会議長 千田 正 英

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は激動の年でありました。東日本大震災により、本市もかつて経験のしたことのない長時間の停電やガソリン不足などその影響を間近に感じ、災害に対する対応についてそれぞれが大きな見直しを迫られることになりました。災害に強いまちづくりが市のあらたな課題となった1年でもあり、また、自然への畏敬の念・地域の絆の高まりを思う年でもありました。

本年の2月で潟上市議会は任期の折り返しを迎えますが、取り組まなければならない課題が山積しております。新庁舎建設はようやく候補地の調査費予算を可決し一歩前に進みました。議員が議場で活発な議論をし、市民に説明責任を果たすことが現在の一番の課題ではないかと思っております。

また、昨年の9月から本議会では「議会改革特別委員会」を設置し、7項目にわたる改革に取り組んでおります。議会運営全般を見直し、市民の負託により一層こたえるようにするためであります。3月定例会までに市民の皆様はその結果を報告する予定としております。

さらに、昨年議会基本条例を制定する自治体が大変多く見られるようになりました。私は昨年のあいさつで「時流に流されることなく条例の本質を見極め、制定は慎重に協議する必要がある」と述べました。条例は市における憲法とも言われ、慎重に対応することが何よりも重要であります。

本市の自然、歴史、伝統、文化、産業などの地域の特性を生かしたまちづくりを目指し、議員の行政監視・政策立案能力の向上を図り、「一人ひとりが輝く潟上」のさらなる飛躍と発展に向けて議会は不断の努力を続けてまいりますことを年頭にあたり皆様にお誓いいたします。

最後に、本年が、市民の皆様にとって輝かしい飛躍の年になりますよう心からお祈り申し上げます、ごあいさついたします。

あけまして  
おめでとう  
ございます



議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	副	議
員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	議長	長
藤	堀	鈴	西	藤	佐	岡	小	伊	菅	澤	菅	藤	児	大	中	長
原	井	木	村	原	藤	田	林	藤	原	井	原	原	玉	谷	川	長
	幸	斌	典	典				義	久	昭	理	幸	春	貞	光	正
	雄	次	男	男				久	和	二	恵	作	雄	廣	博	英
		郎		昇	曙	悟	樹	樹	悦	郎	子					一

事務局職員一同

(議席順)

2011年

# 12月定例会

11月29日～  
12月13日

## 全案可決

### 一般会計補正予算

補正額  
**1億1,996万3千円**

---

総額  
**138億5,990万6千円**

#### 歳出の主なもの

- 電算システムの更新委託料  
**1億1,925万4千円**

---

- 電算システム（サーバー、パソコン、プリンタなど）備品購入費  
**1億2,939万2千円**

---

- 防犯灯の灯具の取り替え等  
**340万6千円**

---

- 地域支え合い体制づくり事業（除雪機12台分等の購入）  
**1,319万9千円**

---

- 子ども手当費  
**△ 9,474万8千円**

---

- 戸別所得補償推進費補助金  
**80万円**

---

- 天塩地区農地集積加速化基盤整備事業費  
**360万円**

---

- 飯田川金山地区の農地災害復旧工事  
**240万3千円**

---

- 飯田川新道地区の法面崩壊補修工事  
**352万円**

### 特別会計補正予算

単位：千円

	補正額	補正後の 予算額
国民健康保険事業特別会計	88,401	3,794,880
後期高齢者医療特別会計	2,016	251,214
介護保険事業特別会計	36,723	2,853,248
農業集落排水事業特別会計	300	160,167
下水道事業特別会計	4,003	1,204,291
合併処理浄化槽事業特別会計	100	6,258

### 水道事業会計補正予算

単位：千円

	補正額	補正後の 予算額
収益的支出	△ 22	511,555
資本的収入	△ 108,223	391,181
資本的支出	△ 258	807,401
損益勘定留保資金	86,965	204,523
建設改良積立金	21,000	21,000

# 12月定例会に 提出された議案等

## ◆ 条例の改正

全案可決

- ・ 議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例(案)
- ・ 特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例(案)

- ・ 教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例(案)

- ・ 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例(案)
- ・ 市立認定こども園に関する条例(案)

- ・ 市立保育所条例の一部を改正する条例(案)

- ・ 下水道条例の一部を改正する条例(案)
- ・ 道路占用料徴収条例の一部を改正する条例(案)

## ◆ 指定管理者の指定

全案可決

- ・ 上町自治会館の指定管理者の指定
- ・ 昭和デイサービスセンターの指定管理者の指定
- ・ 昭和在宅介護支援センターの指定管理者の指定

- ・ 飯田川社会福祉会館の指定管理者の指定
- ・ 飯田川高齢者生きがい対策創作館の指定管理者の指定

## ◆ 特別会計への繰り入れ

可決

- ・ 合併処理浄化槽事業特別会計への繰り入れについて

## ◆ 補正予算

全案可決

- ・ 一般会計補正予算(第7号)(案)
- ・ 国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)(案)
- ・ 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)(案)
- ・ 介護保険事業特別会計補正予算(第3号)(案)
- ・ 農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)(案)
- ・ 下水道事業特別会計補正予算(第3号)(案)
- ・ 合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)(案)
- ・ 水道事業会計補正予算(第3号)(案)

## 佐藤 義久 産業建設常任委員長 暴言を吐いたことに本会議場で謝罪

議会最終日、各常任委員会の報告後に委員長に対する質疑が行われました。

産業建設常任委員長である佐藤義久議員は、議員からの質問に対し「そういうことであれば、委員会に付託しなければ良かった(よかった)すべ」と答弁をしました。

議案の委員会付託は、会議のルールに基づいて行われたものであり、本会議場で、責任ある委員長がそのような発言をするのは不適切であるとの指摘が議員の中からありました。

議長からは再三、発言の取り消しを促す勧告がされました。しかし、佐藤義久委員長は「質問した

議員の質問内容が会議規則に違反している。それに対して発言しただけ。議会運営委員会を開催して会議録を確認されたし。その結果で判断する。」を繰り返し、本人自らの言葉で、発言のどの部分が、会議規則の何条に違反しているのかを議場で明確に説明することはできませんでした。

最終的に、議場を混乱させたことに対して自らの非を認め、佐藤義久委員長からは「付託しなければよかった」という発言は取り消します。暴言を吐いたことにより、みなさんにお怒りを与えてしまい申し訳ありませんでした。」と本会議場において謝罪がありました。

## 陳情

### 採択

- 「社会保障と税の一体改革」による消費税増税は行わないこと」を国に求める陳情書
- 原子力発電所の廃止・再生可能エネルギーによる発電の推進を国に求める陳情書
- 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書

### 継続審査

- 「社会保障と税の一体改革」の中止を求める陳情書
- 「総務文教常任委員会」
- 「介護職員待遇改善交付金の継続」

の意見書採択を求める陳情書

- (社会厚生常任委員会) 消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情
- (社会厚生常任委員会) 年金受給資格期間を10年に短縮することを求める陳情
- (社会厚生常任委員会) 無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3万3,000円の支給を求める陳情
- (社会厚生常任委員会) 0・4%の年金引き下げをもとに戻すとともに、物価指数による年金引き下げを行わないことを求める陳情
- (社会厚生常任委員会)

# 一般質問

## 市民の元気創出に向けた施策について

**問** 事業発注における市内業者J V（共同企業体）導入の考えは。

**答** 入札は一般と指名競争入札、参加業者は単一と共同企業体、組み合わせは市内業者、市外業者を含んだ組み合わせ等、発注は一括、分離発注方式があります。以上に、技術的要素と価格を総合的に評価し落札者を決定する方式もあります。メリット、デメリットを検証し、地域経済効果等につながるのかを検討していきたいと考えています。

**問** 未来づくり協働プログラムへの取り組みは。

**答** 事業は、1. 持続可能な地域づくりに寄与、2. 県の施策と合致、3. 県と市町村による共同の取り組みで、県全体の活性化を目指しています。しかし、具体的な事業内容等が不透明で、確定次第、取組みを明確にしたいと考えています。

**問** 道の駅の活性化策は。

**答** 直売所では地元産の食材を活用した菓子類なども販売されており、6次産業化への取組みも進ん

大谷 貞 廣 議員

できていることから、農業生産力向上事業を継続実施しています。また、観光のスポットでもあり、無料循環バスの運行を行っています。



野菜館くらら

**問** 休耕地を活用したブランド試作栽培について。

**答** 国・県で取組を支援していますが、本市ではこれまで1件の事例にとどまっており、ブランド試作栽培については難しいものとの認識しています。ブランド化では、冷凍・低温の状態で一貫して流通させるシステムが主流となっており、予冷库等に対する助成を県と共同で行っています。

## 国民文化祭への取組について

藤原 幸 作 議員

**問** 第29回国民文化祭は平成26年秋田県での開催が決定しました。秋田県のテーマは「発見・創造・もう一つの秋田」です。

湯上市には「新関ささら」のような素晴らしい無形民俗文化財もあります。また、九州・四国・東北を舞台に農業指導された石川理紀の助翁の精神、行動を取り上げ、全国発信すべきと考えますが。

**答** 文化は地域の元気を創造していく源と考えます。国民文化祭にあたり、市民一人ひとりが文化に触れて親しむ環境を作っていくことを考えています。

国民文化祭では、先人の教えを受け継ぎ、豊かな文化を継承しながら次の世代につないでいくとともに新たな文化価値の創造を図っていくことが大切だと思います。



無形民俗文化財「新関ささら」

石川翁については、湯上市の魅力と伝統文化を全国に発信するための一つのテーマと考えます。来年度に設立される実行委員会で協議を重ねて取り組んでいきます。

### 学校林の管理と 利活用について

**問** 豊川小学校と大久保小学校が豊川財産区と契約している学校林の管理と利活用は。

**答** 制度を活用し、計画的に事業を取り込み、森林環境の保全に努めます。学校林は貴重な資源・財産であり、豊かな心情を育てる場として活用していきます。

### 柔道の必修化と 安全対策について

**問** 中学1〜2年生は柔道が必修となりますが、安全対策は。

**答** 授業担当教員は有段者です。常に安全に配慮は大事であり、講習会等には積極的に参加するように指導します。

## 資源ごみの回収と リサイクルの取り組みについて

藤原典男議員

**問** 資源の再利用・リサイクルは容器包装リサイクル法により取り組むことになっており、ビンやプラスチックも回収すべきではないか。

**答** 今後自治会からの協力を得てモデル地域を決め、ビン類の回収を平成24年度に収集方法や受け入れ体制等の基本方針を決め、平成25年度中には実施する方向で進めたいと考えています。プラスチックは県内7市町村で実施ですが、問題点を検証しながら実施に向けて取り組んでいきたいと考えています。

る部分を全額補助する制度ですが、この制度での該当にならない方のために枠を広げるべきでないか。

**答** 平成22年度から特定不妊治療助成事業、今年度から不育治療費への補助事業を新たに追加しています。市では現在、少子化対策事業として各般にわたり検討しており、保険適用・適用外を含めて、今後も県事業と連携しながら取り組んでいきます。

## 今後の水道整備事業について

**問** 給水地域の計画と事業費は。

**答** 平成22年度から24年度まで新追加上水場等整備事業、平成23年度から24年度まで牛坂地区、平成24年度から26年度まで大崎地区、平成25年度から28年度まで江川・二田地区整備事業で、総事業費は約27億4,000万円の財源です。国庫補助金が約3億1,600万円、企業債約24億円、一般財源約2,400万円で市全体の計画給水人口は3万3,412人です。

## 介護支援ボランティア制度導入について

菅原理恵子議員

**問** 同制度は、高齢者の社会参加の促進と介護予防、住民相互による社会参加活動と地域の活性化、介護保険料及び介護給付費の抑制などの目的がある。導入の考えは。

**答** 制度は地域支援事業として位置づけられており、介護支援に関わるボランティア活動を行った高齢者に対しポイントを付与し、ポイントは換金し、介護保険料の支払いに使用することができるようシステム化したものです。

本市でも、介護給付費を抑える方策として要支援・要介護にならないための介護予防対策が重要になってきており、地域包括支援センターを中心に、生活機能評価の実施、介護予防教室の開催等に取り組んでいます。

導入は、社会福祉協議会や介護福祉施設等と協議を重ね、調査・研究していく必要があることから、「地域福祉計画」、「第5期老人福祉計画・介護保険事業計画」とあわせ検討したいと考えています。

**答** 地域コミュニティとの結びつきが強く、きめ細かな視点を持つ女性の防災対策に果たす役割は大きいものと考えます。

津波ハザードマップ素案づくりのための説明会では女性の視点からの意見、提言をいただいています。今後の避難所指定に対する見直しでも市役所女性職員が参加して検討することとしています。

## 災害FM局の開設について

**問** 災害発生時の情報伝達手段として開設する考えは。

**答** 防災行政無線をより充実させていくとともに、災害FM放送に限らず調査研究していきたいと考えています。

# 一般質問

## 少子化対策と特定不妊治療費補助事業について

**問** 本市では県の制度での不足



ごみの分別とリサイクル

## 女性の視点からの 防災対策について

**問** 防災計画の作成には女性の視点も必要と考えるが。



防災行政無線

# 一般質問

## 警報機、遮断機のない踏切の安全について

**問**

市内で踏切事故が多発しています。安全で安心して渡れる踏切の確保と環境を整える必要があると思います。また、遮断機のない踏切が廃止され、生活道路が通行止めとなった場合の対応は。

**答**

踏切はJ.R.が管理する施設で、危険性があるものは回避を要望します。遮断機のない踏切を廃止すると、生活権を脅かされる市民もあり、その確保が確認された際には廃止の協議に入りたいとJ.R.に回答しています。市としても迂回路や側道等について地域住民や地権者と協議したいと考えています。

## 精神障害者の自立支援について

**問**

障害者やその家族が、地元で働くことができるように作業所の設置等の環境を整える考えは。

**答**

施設の開設には一定の基準を超える場合は県に事業所登録の必要があり、相談窓口を設置し、随時対応しています。創作的活動や生産活動の機会を提供する事業として「地域活動支援センター機能強化事業」も実施しています。

今後も特別支援学校や障害者福

岡田 曙 議員

社施設との連携を図りながら、相談や情報提供に努めていきます。



南秋つくし苑天王分場

## 心の問題を抱える子供たちへの対応について

**問** 市内にも心の問題から登校できな

い子供たちがいますが、どのような対策と指導をしているか。

**答** いじめ等の生徒指導上の情報

収集のためにアンケートや面談等を実施して把握に努めています。いじめが発覚した場合は、職員会議での事実共有化や道徳や学級活動の時間でいじめ等に係る問題を取り上げる等の対応をしています。不登校は中学校入学を機に増加することから、小学校と中学校の連携が大切と認識しています。

## 市税の落ち込みに対する対応について

**問**

22年度と21年度を比較した場合、収入済額で8,350万円の減収。恒久的な見地からの対応は。

**答**

23年度市税全体は前年度比2,150万円の増となり、中長期的見通しでは32年度から合併による恩恵はなく、財政面での課題の一つとして認識しています。

## 補助金の監査について

**問**

市単独の各種事業団体への補助金交付額は23年度で3億6,700万円と莫大な額である。非常勤から常勤体制にし、監査すべきでは。

**答**

本市監査状況は2人の監査委員で、例月出納、決算審査、定期監査にとめているが、時間的制約から詳細な監査は困難な状況です。常勤監査委員の必要性は認めますが、人件費の増大が予想されることから、担当の所管で十分な審査に努めていきます。

## 24年度の新規事業について

**問**

市民の福祉向上・行政サービスの観点からの新規事業や大規模事業の計画は。文化会館の建設を望む声もあるが。

**答**

喫緊の課題である新庁舎建設

西村 武 議員

## 災害専門知識を持つ職員の育成について

**問** 東日本大震災の教訓から職員

の育成が急務と考えるが。

**答** 県主催

による危機管理専門研修等への参加で職員の知識の研鑽と体得に努めているところ



市防災対策本部

## 児童生徒の防災教育について

**問** 実践的な防災訓練の実践は。

**答** 今年度は全ての学校で地震発生時の津波を想定した訓練をしています。実践的な訓練は全ての幼稚園、保育園、放課後児童クラブでも実施しています。

# 合併特例債の期間延長について

佐々木 嘉一 議員

**問** 合併特例債の適用期間が10年から15年に延長される事により現行の市建設計画を見直す考えは。

**答** 合併特例債の取扱法案は、今国会に提案されています。また審議されておらず内容等は未確定です。もし期間が延長された場合でも交付税算定期間は伸びないので平成27年以降は交付税措置は削減されます。

**問** 合併協議においてごみ処理場は特例債を活用する計画であったが。

**答** 県との協議段階で処理場を運営する自治体(3町)

は合併後も変わっていないことにより、施設の改修、改築は特例債の活用はできない旨、県から指摘されています。



クリーンセンター(昭和59年3月竣工)

**問** ごみ処理場を合併特例債充当事業から、現在検討中の現施設の延命化対策へ変更することでの経

済比較は。

**答** ごみ処理施設の新設計画と延命化対策による改修計画の比較検討については、現在改修計画を進める中で比較を行っており、計画策定後に議会へ説明します。

## 都市計画変更に伴う 県との協議について

**問** 地方分権一括法により、都市計画の変更の取り扱いについては、従来から県の同意が必要であったが一括法により「協議」となった。この事に関し、県からの通達があったか。

**答** 都市計画法の改正であることにより、特別な通達はありません。ただし、「都市計画運用指針」が改訂された旨の通知がありました。

**問** 潟上市単独都市計画樹立のための調査の現況は。

**答** 単独都市計画を目ざしたが、課題は多いところです。現在課題の検証が終わり、県との協議中です。

## 秋田県市議会議員研修会



平成23年度秋田県市議会議員研修会(秋田県市議会議長会主催)が11月16日に秋田キャッスルホテルを会場に開催されました。

研修には潟上市議会議員をはじめ県内13市から市議会議員と議会事務局職員合わせて300人以上の出席がありました。

当日は山村武彦氏(防災システム研究所長)から「巨大地震に学ぶ自治体と地域の防災対策」と題して講演が行われました。

講演の中では、これからの防災・危機管理について「安全は自治体だけでなく社会全体で支える」とのお話がありました。

# 一般質問





委員会の動き

# 総務文教

市はどう答えたか

## Q&A

委員長	菅原 久和	副委員長	小林 悟
委員	藤原 典男	委員	西村 武
委員	鈴木 斌次郎	委員	堀井 克見
委員	千田 正英		

### ●認定こども園に関する条例(案)

**問** 認定こども園ごとに構成する施設の違いがあるのは。

**答** 認定に「保育連携型」「保育所型」「幼稚園型」「地方裁量型」の4種類あるためです。



出戸幼稚園

### ●上町自治会館の指定管理者の指定

**問** 指定管理は自主事業実施による活性化、広域的な利用促進が図られるという説明であったが。

**答** 全ての事業が計画どおりに実施されておらず、現在は集会所として利用が主です。

### ●一般会計補正予算(第7号)(案)

**問** 電算システムで、6社からの見積り額が大きくかけ離れている。他の市町村でもこのような状況か。

**答** 合併当初の電算システムの仕様に基づき見積もりを徴収した。予算計上は他市町村でも同様の取扱いとなっています。

**問** 契約額のリース金額に差があるのは。

**答** 契約額の多くを23年度で支払うことにしたため、後年度負担が少なくなつたものです。

**問** 魅力ある学校づくり調査研究事業の内容は。

**答** 不登校の未然防止のための事業です。学校の中でやれること、改善できることは改善し努力をしているところです。昨年度と同様にパンフレットを作成し防止に努めています。

**問** サイバー攻撃への対応は。US Bメモリーの管理は。

**答** 要綱に基づきセキュリティ対策を講じています。サイバー攻撃に対処できるような機器を設置しており、問題ありません。

**問** ソフトの後年度の負担は。

**答** 住基システム更新1件分が後年度負担で、平成28年度まで年間3、465万円を支払っていく計画です。

**問** 全国大会出場祝金の今後の見込みは。

**答** 剣道、レスリング、スキー競技など対象者約14人を見込んでいます。

**問** 教育総務費の時間外手当への抜本的対応・見直しは。

**答** 職員の健康を考慮しながら、改善を進めていきたい。市当局とも相談していきたい。

**問** 機構改革的な問題が時間外勤務の増加という状況を生んでいるのでは。

**答** 機構改革が影響したとは考えていない。教育委員会は休日出勤の場合、代休が取れない状況であり、この調整が平成24年度の課題だと考えています。

委員会の動き

# 社会厚生

市はどう答えたか

## Q&A

委員長	佐藤 昇	副委員長	中川 光博
委員	児玉 春雄	委員	藤原 幸作
委員	岡田 曙	委員	佐々木嘉一

### ●飯田川社会福祉会館の指定管理者の指定

**問** 指定管理にあたり、耐震についても考慮する必要があるのでは。

**答** 建物が老朽化していることから、耐震は、今後の検討課題とさせていただきます。

### ●飯田川高齢者生きがい対策創作館の指定管理者の指定

**問** 利用者が減ってきており施設のあり方を検討すべきでは。

**答** 施設が老朽化してきており、地域とも協議していきたいと思っております。

### ●一般会計補正予算(第7号)(案)

**問** 子ども手当減額の内訳は。

**答** 当初予算額からつなぎ法分と特措法分を差し引いた9、474万8千円を減額するものです。

**問** 生活のしづらさ調査の内容は。

**答** 福祉法制の基礎資料とするため、障がい者及び障がい児、手帳を持たない長期に病気をされている方を対象に全国で実施するものです。

**問** 除雪機の地区別配置台数、運搬方法及び作業従事者の報酬は。

**答** 天王地区5台、昭和地区4台、飯田川地区3台。運搬は購入予定の軽トラック2台を貸出します。ボランティアとなります。

**問** クリーンセンター長寿命化計画策定業務委託料の落札経緯について。

指名競争入札の結果。業務は最終段階で契約額変更の要素がなく減額するものです。

敬老式の今後のあり方について。

高齢者が一堂に集まる唯一の機会です、続けてほしいという声もあり、引き続き検証していきたいと思っております。



潟上市敬老式

国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)(案)

普通調整交付金は徴収率によって影響があったのか。

県全体で国保の広域化の検討に取り組んだ結果、ペナルティは適用されませんでした。

後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)(案)

制度改正への課題となっているものは。

国保、社保に戻す案はありません

が、財源が1千億円以上かかるため厳しい状態です。

介護保険事業特別会計補正予算(第3号)(案)

介護給付費と要介護者の今後の見込みは。

22年度は前年比5%の伸び率で、今後も増えていくものと思われま

第5期計画での介護保険料の見込み額は。

現段階の試算では、月額4,700円を上回ることあつても下回ることはない状況です。

産業建設 Q&A

委員会の動き

市はどう答えたか

- 委員長 佐藤 義久 副委員長 伊藤 栄悦
- 委員 大谷 貞廣 委員 菅原理恵子
- 委員 澤井昭二郎 委員 戸田 俊樹
- 委員 藤原 幸雄

合併処理浄化槽事業特別会計への繰り入れ

繰り入れの具体的な理由は。

使用水量の伸びが想定までは達しませんでした。

一般会計補正予算(第7号)(案)

営農経営支援資金利子補給費補助金の債務負担行為は今年度分が含まれているか。

平成24年度から平成27年度までの4年間の債務負担行為です。今年度については、当初予算と12月補正で計上しています。

戸別所得補償推進費補助金の交付を受ける2団体の経営面積は。

天王地区は、会員11名、耕作面積41・88haです。塩口地区は、会員12名耕作面積36・66haです。

天塩地区のほ場整備の工事内容は。

排水溝を30cmかさ上げし法面の勾配緩和を図るものです。

道路改良費で負担金補助及び交付金から組み替えている理由は。

上江川二田線は列車監視装置の設置、大清水下谷地線は橋台の下部工の一部を24年度に行いたいとJRより申し出がありました。次年度以降も整備の必要がある路線の工事が

控えていることから、組み替えをして今年度で対応することにしたものです。

下水道事業特別会計補正予算(第3号)(案)

請負の組替増加634万円の内容は。

来年は羽立・湖岸地区の施設を流域下水道に接続する必要があるため、国庫補助対象事業として工事費を補正計上しています。工事費は繰り越され来年度の工事となります。

水道事業会計補正予算(第3号)(案)

企業債と国庫補助金の減額理由は。

新追分浄水場等施設整備配水設備新築工事の企業債を4億480万円から3億円に変更するものです。



新追分配水本管Φ300mm布設(細谷長根地区)

# 常任委員会 行政視察研修報告

研修月日 総務文教：9月28日～30日 社会厚生：10月26日～28日 産業建設：10月24日～26日

## 総務文教常任委員会

### ●北海道千歳市防災学習交流センター

施設の見学と、千歳市の防災対策についてセンター職員より伺った。

千歳市では雪害は、幹線道路の2車線化等の整備、備蓄は8か所の防災備蓄庫に、市民3日分の食糧を保管。防災訓練は、自衛隊とも連携して大規模に実施。

本市でも、防災備蓄庫の分散化や備蓄品の数量などの再点検、防災訓練を現実に即して、自衛隊、警察といった機関も入れ実施することも必要ではないかという感じを受けてきた。

### ●北海道栗山町

議会基本条例制定に先立って行われた議会改革についての背景、条例について説明を受け、栗山町議員と意見交換を行った。

その中で、「なぜ、議会基本条例か」という核心にあたる部分では「内容は当たり前のこと」ということに終始した。本議会では条例化することの意味、制定の効果を慎重に協議する必要があるとの感を受けた。

### ●北海道北広島市

民間委託を推進している①学童クラブ運営方針の見直し②市立保育園の民営化③図書館業務の委託拡大④総合体育館の委託について担当者と質疑応答を行った。

4つの項目は「職員数の減」では即効性はあるが、財政的な面での効果はなかなかあらわれてきていないようでもあった。

「行革とは何か」を見定めながら施策の展開を図る必要があること、民間委託については何を指すのかを十分に検討しながら導入しなければならないことを強く感じてきた。

## 社会厚生常任委員会

### ●長野県須坂市

①地域防災マップ作成について

市内全ての自治会で、防災上重要な場所あるいは避難場所等を地図に落とし、地域の方の認識が一致するように作成。

②防災行政無線（同報系）について

戸別受信機を自治会長宅等120カ所に設置。住宅の機密性から、聞き取れない場合があるので、平成19年度に防災ラジオの斡旋。

③防災防犯メールについて

気象警報や火災・災害情報等を「メールマガジン」として、市民からの情報も配信。

④新・地域見守り安心ネットワークについて

「寝たきり老人等事故防止対策」民生児童委員が把握している情報を基に、自治会長が中心となり、見守りの体制を作っている。

### ●長野県佐久市

①馬坂・広川原福祉バス運行事業について

社協に事業委託。市は1時間1,070円×8時間×年間15回の12万円弱の予算を措置。

②高齢者基本調査事業について

23年度から佐久総合病院と委託契約をして、65歳から85歳まで年間約6,000人を3年間調査するもの。

③高齢者緊急時あんしん情報提供事業について

民生委員が65歳以上の独り暮らし、高齢世帯、要援護、障害といった方々の調査をし、データを市に提供。

④多受診重複者訪問指導事業について

目的別に受診するので多受診になる例は少ない。

## 産業建設常任委員会

### ●新潟県燕市

①都市計画マスタープランについて

概ね20年後の都市の将来像を確立し、地区別のあるべき姿や整備方針を定めるため、都市計画マスタープランを市民の方々と行政が協働で策定。

②新庁舎建設事業について

市民への周知は、基本構想や基本計画の策定時などのポイントについては、広報誌に特集記事を掲載。平成20年11月からは、新庁舎建設お知らせ版の全戸配布。

議会は、新庁舎建設等検討特別委員会を設置し、基本構想や基本計画等の内容を協議。

市民の意志を尊重し、周知のための各種情報提供や合意形成に努めているプロセスは、本市も参考にすべきであると感想をもった。

### ●新潟県妙高市

①再開発による中心市街地の活性化について

中心市街地の空洞化に対して、官民で市街地開発事業に取り組み、中心市街地活性化法の施行により、活性化の重点区域としてJR新井駅前の朝日町を位置づけ、総事業費49億円をかけ、商業集積開発を行ったもの。

②企業誘致について

雪がもたらす水と清廉な環境を元に企業誘致を進め、パナソニック(株)等半導体関連産業が立地。近年は安全・安心な食の確保につながる自然志向型の企業誘致を進めている。

国では東日本大震災の影響で日本海側にも物流拠点を整備する必要性を打ち出しており、本市もその機会を逸することなく、企業誘致活動を強力に推進する必要性を感じた。

# 12月定例会各議員の賛否一覧(全会一致を除く)

会派名	議案等		議案第70号 議員報酬等 に関する条例の一部改正	議案第71号 特別職の給与 及び旅費に関 する条例の一 部改正	議案第72号 教育長の給与 及び勤務時間 等に関する条 例の一部改正	議案第73号 一般職の職員 の給与に関す る条例等の一 部改正	陳情第10号 社会保障と税 の一体改革に よる消費税増 税は行わない
	氏名						
政和会	西村 武		○	○	○	○	○
	堀井 克見		○	○	○	○	○
	藤原 幸雄		○	○	○	○	○
	岡田 曙		○	○	○	○	○
共産	藤原 典男		○	○	○	×	○
平成会	大谷 貞廣		○	○	○	○	○
	児玉 春雄		○	○	○	○	○
21新世	小林 悟		○	○	○	○	○
21振興	戸田 俊樹		×	×	×	○	○
	菅原 久和		×	×	×	○	○
	中川 光博		×	×	×	○	○
21改革	鈴木 斌次郎		○	○	○	○	○
	伊藤 栄悦		×	×	×	○	○
	佐々木 嘉一		×	×	×	○	○
政友立志会	澤井 昭二郎		○	○	○	○	×
	藤原 幸作		○	○	○	○	○
公明	菅原 理恵子		○	○	○	○	○
新星だるま	佐藤 義久		×	×	×	○	○
正志会	佐藤 昇		○	○	○	○	○
結果			原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	採択

議会の傍聴をしたくとも仕事などで、できない方のためにも議会での発言

活字を通して議会の様子  
子が伝わりますように、  
私も新人議員として一生  
懸命取り組んで参りました。  
如何でしたでしょうか。  
貴重な2年間を全う  
出来ましたこと、心より  
感謝申し上げます。あり  
がとうございました。  
(菅原理恵子記)

編集委員として、この  
2年間、市民の皆様に見  
み易い、解り易い紙面構  
成を随時検討して参りま  
した。今、責任と役割を  
果たすことの喜びに感謝  
申し上げます。心からご  
協力ありがとうございます。  
(副委員長 岡田曙記)

新年明けましておめで  
とうございます。皆様は  
は、今年も最良の年にな  
りますようご祈念致しま  
す。さて私共編集委員も  
今回の議会だより発行で  
2年間の任期が満了とな  
ります。これまでのご協  
力に感謝を致します。今  
年も議会だより、ご愛読  
お願い致します。  
(委員長 西村武記)

## 編集委員から



2月を以て委員の任期  
満了です。定例議会ごと  
に多くの市民から愛読さ  
れたが、議会報告会を通  
じ情報交換できたこと  
が、大きな成果でした。  
今後とも議会活性化のた  
め、更にも努力することを  
誓います。  
(藤原幸雄記)

紙面構成のリニューアル  
ル、特集号発行等委員の  
英知を結集した2年間で  
した。新しい事には反論  
や数での圧力が付きもの  
です。正論に人は必ず  
与するものです。一切  
は心より「転ず」編集委員  
の仲間へ贈る言葉です。  
(堀井克見記)

言や議事の流れなど分か  
りやすく、臨場感のある  
「議会だより」にと努め  
てきました。議会が身近  
なものとして感じていた  
だけたでしょうか。  
(藤原典男記)